

# 阪急沿線 71 駅目 ちよい駅 散歩

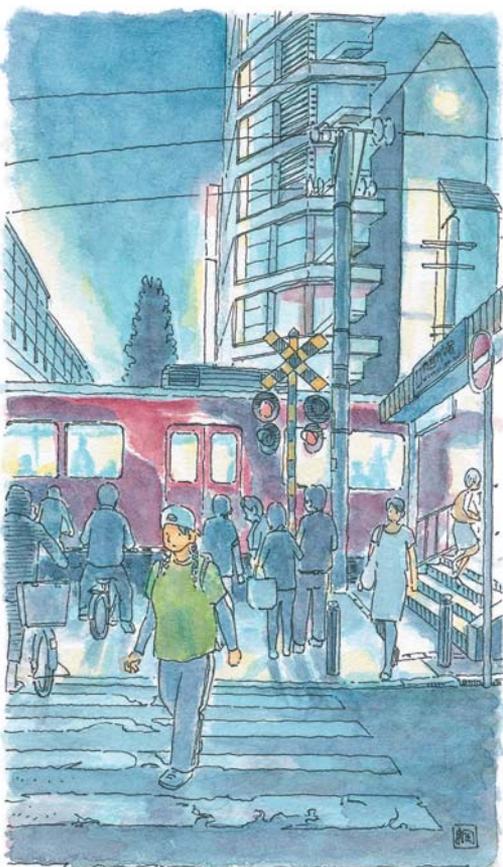
71 駅目

## みなみかた

南方  
MINAMIKATA

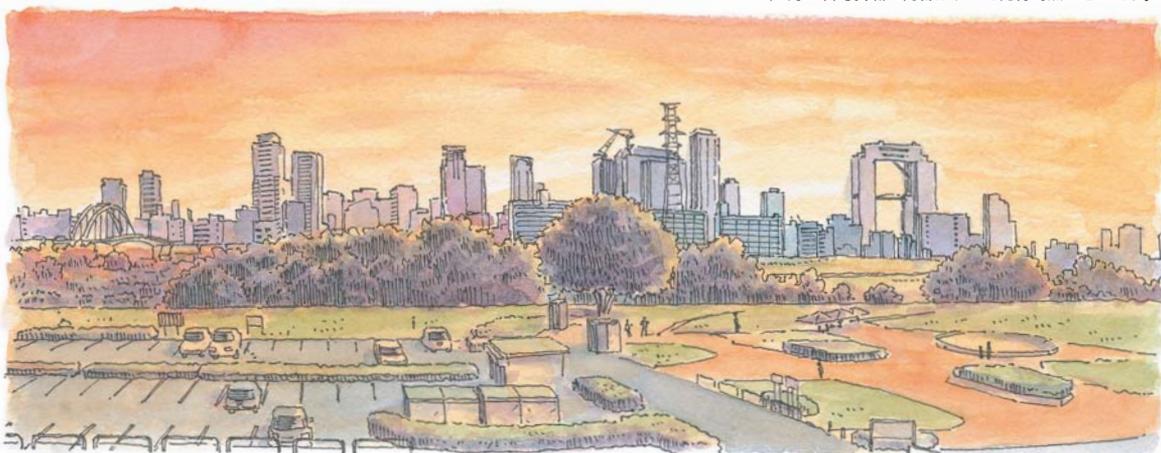
← じゅうそう  
JUSO
→ そうぜんじ  
SOZENJI

オフィスビルやビジネスホテルが建ち並ぶ南方駅周辺は、サラリーマンが足しげく通う飲食店の密集地でもある。しかし入れ替わりも激しく、「まずは半年持つか」が勝負の分かれ目だ。今日はこの店、明日はあの店…と飽きることのないグルメ激戦区を巡ってみよう。



南方駅 | 所在地 / 大阪市淀川区西中島  
設置 / 1921年4月1日

## ネオン輝く喧噪の繁華街をグルメ散歩



**淀川河川敷** 駅から南へ歩くと程なく淀川が目の前に現れる。堤防に立つと空がぐっと広がり、公園でバーベキューを楽しむ人や犬と一緒にのんびりたたくむ人など、さっきまでの街の雑踏が嘘のように、ここだけ緩やかな時間が流れている。



### 田中萬酒店 時代をくぐり抜けてきた昭和の角打ち

古びた看板にガラスの引き戸という趣深い店構えの酒店を営むのは、嫁に来た日から店に立ち 50年という「オカン」と、三代目で息子の一嘉さん。18時を過ぎる頃には仕事帰りの常連客が姿を見せ始め、ポテトサラダやナスの煮浸しなど、カウンターに並ぶオカン手作りの総菜を指差して「これちょうだい」と注文していく。熱く語る上司と部下、店で知り合い久しぶりに顔を合わせる人たちなど、客と元気なオカンの笑い声が飛び交う雰囲気、不思議とホッとしてしまう。店と客が長年培ってきた人情あふれる安心感がここにある。

●10:00~22:00 / 日曜・祝日は休 / ☎06・6301・4164



### 媛 故郷味の旅 郷土愛あふれる若手店主が作る愛媛の味

店主の地元・愛媛を中心に、四国直送の素材を使った郷土料理を味わえる同店の看板メニューが「せんざんき」。今治地方の鶏の空揚げのことで、女性の拳くらいはあるビッグサイズがこの店の特徴だ。そのボリュームとサクとした衣、しつこくない味つけに虜になるサラリーマンが多いというのも頷ける。1、2カ月に1回は帰省し、メニューに生かすネタを探すという、職人気質の店主が生み出す料理に今後も注目だ。

●11:30~15:00、17:00~24:00 (フードL23:00、ドリンクL23:30) / 日曜・祝日と9月22日は休 / ☎06・6886・9860



### Vege Cafe +α 9階建てビルの屋上の自家菜園

ビルがひしめく中で、屋上で無農薬野菜を育てているカフェを発見。このビルを管理するオーナーが屋上の有効活用のため菜園を始めたことがきっかけで2011年、1階に育てた野菜を使ったメニューを提供するカフェをオープンした。現在はハーブを中心に約15種類を栽培し、その日に使う分を毎朝スタッフが収穫している。直射日光や風の影響を受けやすい屋上菜園は、野菜にとっては過酷な環境のうえコストも時間もかかるそう。だが、「今育てているブドウでワインを作りたい!」と、夢ふくらませるオーナーの表情は明るい。

●9:30~21:00 (土曜は11:00~、日曜は11:00~19:00、LOは閉店の30分前) / 月曜・祝日と9月21日は休 / ☎06・6305・3262

### 人気ラーメンを味比べ

グルメ激戦区の南方でひと際目に付くのが「麺」の文字。ラーメン店が集中する一角や、10人程がいつも列をなしている行列必至の店もあり、各店自慢のメニューで競い合っている。スープの種類も様々で、魚介系、天然塩、豚骨と鶏ガラなど、どの店もこだわりたっぷりだ。湯気が立ち込めた熱気あふれる店内で、汗をかきつつ最後の一滴まで飲み干したい。

